

長野市消防局告示第 6 号

消防活動上支障を生ずる届出物質を次のとおり指定しました。

令和元年 9 月 9 日

長野市消防長 島田 齊

消防活動上支障を生ずる届出物質の指定

長野市火災予防条例（昭和 41 年長野市条例第 130 号）第 47 条の規定により核燃料物質、放射性同位元素その他消防活動に重大な支障を生ずるおそれのある物質（消防法（昭和 23 年法律第 186 号）別表に掲げる危険物、危険物の規制に関する政令（昭和 34 年政令第 306 号）別表第 1 及び第 2 に掲げる物質並びに別表第 4 に掲げる指定可燃物に該当する物質を除く。）を次のとおり指定しました。

1 核燃料物質

原子力基本法（昭和 30 年法律第 186 号）第 3 条第 2 号に規定する核燃料物質で次の表の左欄に掲げる種類に応じ当該右欄に掲げる数量を超えるもの

種	類	数	量
(1)	ウラン 235 のウラン 238 に対する比率が天然の混合率であるウラン及びその化合物	ウランの量	300 グラム
(2)	ウラン 235 のウラン 238 に対する比率が天然の混合率に達しないウラン及びその化合物	ウランの量	300 グラム
(3)	前 2 号の物質の 1 又は 2 以上を含む物質で原子炉において燃料として使用できるもの	ウランの量	300 グラム
(4)	トリウム及びその化合物	トリウムの量	900 グラム
(5)	前号の物質の 1 又は 2 以上を含む物質で原子炉において燃料として使用できるもの	トリウムの量	900 グラム

2 放射性物質

放射性同位元素等の規制に関する法律（昭和 32 年法律第 167 号）第 2 条第 2 項に規定する放射性同位元素及び放射性医薬品の製造及び取扱規則（昭和 36 年厚生省令第 4 号）第 1 条第 1 号に規定する放射性医薬品で、次の表の左欄に掲げる種類に応じ当該右欄に掲げる数量を超えるもの（種類が 2 以上のものについては、それぞれの種類に応じた数量に対する割合の和が 1 以上となるものを含む。）及びその濃

度が 74 ベクレル毎グラム（自然物で固体状のものは、370 ベクレル毎グラム）を超え、かつ、密封された放射性同位元素にあっては、1 個当たりの数量が 3.7 メガベクレルを超えるもの

種	類	数	量
ストロンチウム 90 及びアルファ線を放出する同位元素		3.7 キロベクレル	
物理的半減期が 30 日を超える放射線を放出する同位元素（トリチウム、ベリリウム 7、炭素 14、硫黄 35、鉄 55、鉄 59 及びストロンチウム 90 並びにアルファ線を放出するものを除く。）		37 キロベクレル	
物理的半減期が 30 日以下の放射線を放出する同位元素（ふっ素 18、クロム 51、ゲルマニウム 71 及びタリウム 201 並びにアルファ線を放出するものを除く。）並びに硫黄 35、鉄 55 及び鉄 59		370 キロベクレル	
トリチウム、ベリリウム 7、炭素 14、ふっ素 18、クロム 51、ゲルマニウム 71 及びタリウム 201		3.7 メガベクレル	

### 3 火薬類

火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）第 2 条に規定する火薬類で、次の表の左欄に掲げる種類に応じ右欄に掲げるもの（数量が指定されているものには、当該数量を超えるもの）

種	類	数	量
火薬		5 キログラム	
爆薬			
火	工業雷管及び電気雷管		
	導爆線		
	鉋さい破砕器及び爆発せん孔器		
	爆発びよう		
	鉄道車両用、車両用、船舶用及び航空機用火工品		
工	銃用雷管	2,000 個	
	信号用雷管	25 個	
	実包及び空包（建設用びよう打銃用空包を除く。）	800 個	
	導火線	100 メートル	
	電気導火線	500 個	

品	信号焰管及び信号火せん	5 キログラム
	煙火（がん具煙火を除く。）	5 キログラム
	薬液注入用薬包	200 個
	建設用びよう打銃用空包	2,000 個
	コンクリート破碎器	1,000 個
	ロープ発射用ロケット	10 個
	がん具煙火 （クラッカーボールのうち直径が1センチメートル以下、重量が1グラム以下のもので爆発音を出すための爆薬が0.08グラム以下のものは、5キログラム）	25 キログラム

#### 4 高圧ガス

高圧ガス保安法（昭和26年法律第204号）第2条に規定する高圧ガスのうち、次の表の左欄に掲げる種類に応じ当該右欄に掲げる数量以上のもの（液化ガス又は液化ガス及び圧縮ガスであるときは、液化ガス10キログラムをもって容積1立方メートルとみなす）

種	類	数	量
メタン、エタン、ブタン、エチレン、プロピレン、ブタジエン、塩化ビニールモノマー、油ガス、石炭ガス、水素、水性ガス、メチルエーテル等の可燃性ガス		30 立方メートル	
窒素又は炭酸ガス（これらのうち消火設備に使用されている消火薬剤を除く。）酸素、亜酸化窒素クロルシフルオルメタン、アルゴン、6フッ化イオウ		50 立方メートル	

#### 附 則

この告示は、公布の日から施行する。

附 則（平成2年5月23日告示第1号）

この告示は、平成2年6月1日から施行する。

附 則（令和元年8月27日告示第4号）

この告示は、令和元年8月27日から施行する。

附 則（令和元年9月9日告示第6号）

この告示は、令和元年9月9日から施行する。